

ドイツ語入門 Introduction to German

薬：K2-02111MY、生命：K2-02111MS

素養科目 1年／前期 1単位 選択必修科目

科目責任者 澤元 互(非常勤講師)、フランク・リースナー(非常勤講師)、相馬 大樹(非常勤講師)、橋 由布季(非常勤講師)、吉羽 里恵(非常勤講師)、三枝 桂子(非常勤講師)

授業担当者 A組 1班：澤元 互(非常勤講師)、A組 2班：吉羽 里恵(非常勤講師)

B組 1班：フランク・リースナー(非常勤講師)、B組 2班：澤元 互(非常勤講師)

C組 1班：相馬 大樹(非常勤講師)、C組 2班：橋 由布季(非常勤講師)

S組 1班：三枝 桂子(非常勤講師)

■ 教育目的 (各クラス共通)

新しい外国語との出会いは、新しい世界との出会いを意味します。それはさまざまな発見に満ち、私たちの知的好奇心を大いに刺激してくれます。また、外国を知ることで日本という国を改めて理解し、自分のこれまでのものの見方や考え方、感じ方を問い直す契機にもなるでしょう。

ドイツ語は、母国語としているドイツ、オーストリア、スイスなどの国々だけでなく、東欧諸国でも広く通用し、ヨーロッパではロシア語に次いで多く話される言語です。ヨーロッパのほぼ真ん中に位置するドイツは9つの国々と国境を接していますが、言語や文化を異にする国々が、どう互いに平和的に共存し繁栄しうるのが、ヨーロッパ共同体(EU)が取り組んでいる壮大な試みに世界が注目していますが、その牽引力としての役割をドイツは果たしています。

明治以来、日本はドイツから多くを学び、近代化を成し遂げました。医学・薬学や物理、化学など、特に近代科学の分野での日本の発展は、ドイツとの関わり抜きには語れないものです。これからの日本が進むべき道筋を考える上でも、ドイツなど、ヨーロッパ諸国の歩みは重要な道しるべとなるにちがいありません。

ドイツ語を楽しく学びながら、世界の情報を少しでもより客観的に捉えられるよう、自身の言語理解力、コミュニケーション能力を高めていきましょう。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■ 学習到達目標 (各クラス共通)

1. ドイツ語の発音を学び、やさしい文章を音読できる。(知識、技能)
2. 初歩の基本文法を学び、ドイツ語のアウトラインを理解する。(知識、技能)
3. 基本語彙と基本文例に慣れ親しみ、簡単な日常会話を養う。(知識、技能)
4. 辞書を使って、平易な文章が読める力を身につける。(知識、技能)
5. ドイツやヨーロッパの文化や社会生活などを知り、日本と比較しながら、幅広い視点を養う。(知識)

■ 授業内容

A組 1班 澤元 互(非常勤講師)

教科書の前半を扱い(後半は後期「ドイツ語基礎」で学習)、単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、基本的なドイツ語の構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。新しい言葉の習得には、繰り返しが大切です。テキスト付属のCDは、授業時以外にも聴き、発音練習に役立ててください。

[No.1~2] ガイダンス(予習復習・授業の進め方など)／第0課：ドイツ語の発音

[No.2~3] 第1課：動詞の現在人称変化

[No.3~4] 第2課：名詞の性／冠詞の格変化

[No.5~6] 第3課：不規則動詞変化／命令形

[No.7~8] 第4課：定冠詞類／不定冠詞類

[No.9~10] 第5課：複数形／人称代名詞

[No.11~12] 第6課：前置詞の格支配

[No.13~14] 第7課：形容詞の格変化

[No.15] これまでの復習

準備学習(予習・復習)：予習よりも復習を重視し、例文・歌詞を暗唱してください。

授業形態：双方向型授業、講義

課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、説明をする。【成績評価方法】原則として期末試験(100%)で判定します。

教科書：『ヴェスト初級ドイツ語クラス』上村・寺澤・及川・著(白水社)

参考書：独和辞典(電子辞書可)

A組 2班 吉羽 里恵(非常勤講師)

ドイツ語の文法・発音・語彙・表現の基礎的な学習を通じて、ドイツ語運用能力の土台を着実に形成し、同時にドイツ語圏の文化・歴史・現状についての理解も深めていくことを目指します。前期では教科書の前半部分を、後期(ドイツ語基礎)では教科書の後半部分を学習していきます。

[No.1~2] アルファベット、あいさつ、ドイツ語圏、発音規則、数詞、自己紹介

[No.3~5] 第1課：動詞の現在人称変化、重要動詞 sein と haben、語順、否定文

[No.6~8] 第 2 課：名詞の文法性、格概念、名詞の格変化 (1・4 格)、人称代名詞 (1・4 格)

[No.9~11] 第 3 課：不規則変化動詞、否定冠詞の用法、名詞の複数形

[No.12~14] 第 4 課：名詞の格変化 (2・3 格)、人称代名詞 (3・4 格)、男性弱変化名詞

[No.15] これまでの復習

準備学習 (予習・復習)：予習：教科書に目を通し、分からない単語を辞書で調べる (30 分)

復習：宿題に取り組む。新しく学んだ事柄を整理する (30 分以上)

授業形態：グループワーク、双方向型授業、講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や試験に関する質問等を個別に受け付け、説明する。

【成績評価方法】期末試験 (80 %) と課題・小テスト (20 %) で総合評価する。

教科書：『どんだん話そうドイツ語』 Frank Riesner、田中雅敏著 (郁文堂) 2019 年

ISBN : 978-4-261-01270-5

参考書：独和辞典(電子辞書可)

B 組 1 班 フランク・リースナー(非常勤講師)

前期(ドイツ語入門)と後期(ドイツ語基礎)あわせて、ドイツ語の文法をひと通り学習します。ドイツ語の読解・コミュニケーションのための基礎的な文法力を養います。ドイツの生活や習慣にも触れながら、テキストの文法問題、聞き取りや読みの練習でドイツ語の語彙を増やします。

[No.1] 導入、アルファベットと発音ドイツ語の発音、数詞、挨拶

[No.2~3] 第 1 課：動詞の現在人称変化・sein と haben の不規則変化

[No.4~6] 第 2 課：名詞の性・名詞の 1 格、4 格・人称代名詞 1 格、4 格

[No.7~8] 第 3 課：不規則動詞の現在人称変化変化・名詞の複数形

[No.9~10] 第 4 課：名詞の 2 格、3 格・人称代名詞 3 格、4 格・男性弱変化名詞

[No.11~12] 第 5 課：再帰代名詞・副文

準備学習 (予習・復習)：予習：辞書を引いてわからない単語を調べる (30 分) / 復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。(30 分以上)

授業形態：双方向型授業、講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法：課題(レポート、試験等)のフィードバックについて：授業や定期試験に関する質問等を受け付け、その指導をする。

成績評価方法：期末試験 (80 %)、課題提出 (20 %) で総合評価する。

教科書：『どんだん話そうドイツ語』 Frank Riesner、田中雅敏 著 (郁文堂) 2019 ISBN 978-4-261-01270-5

参考書：独和辞典(電子辞書可、指定したスマートフォンアプリケーション可)

B 組 2 班 澤元 互(非常勤講師)

教科書の前半を扱い(後半は後期「ドイツ語基礎」で学習)、単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、基本的なドイツ語の構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。新しい言葉の習得には、繰り返しが大切です。テキスト付属の CD は、授業時以外にも聞いて、発音練習に役立ててください。

[No.1~2] ガイダンス(予習復習・授業の進め方など) / 第 0 課：ドイツ語の発音

[No.2~3] 第 1 課：動詞の現在人称変化

[No.3~4] 第 2 課：名詞の性 / 冠詞の格変化

[No.5~6] 第 3 課：不規則動詞変化 / 命令形

[No.7~8] 第 4 課：定冠詞類 / 不定冠詞類

[No.9~10] 第 5 課：複数形 / 人称代名詞

[No.11~12] 第 6 課：前置詞の格支配

[No.13~14] 第 7 課：形容詞の格変化

[No.15] これまでの復習

準備学習 (予習・復習)：予習よりも復習を重視し、例文・歌詞を暗唱してください。

授業形態：双方向型授業、講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、説明をする。【成績評価方法】原則として期末試験 (100 %) で判定します。

教科書：『ヴェスト初級ドイツ語クラス』上村・寺澤・及川・著(白水社)

参考書：独和辞典(電子辞書可)

C 組 1 班 相馬 大樹(非常勤講師)

教科書の前半部を扱います(後半部は後期科目「ドイツ語基礎」に引き継ぎます)。単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、基本的なドイツ語の構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。新しい言語の習得には繰り返しが不可欠です。テキスト付属の CD は、授業以外でも聞いて、発音練習や復習に役立ててください。

[No.1~2] アルファベットと発音、あいさつ

[No.3~5] 第 1 課：動詞の現在人称変化 1

[No.6~7] 第 2 課：動詞の現在人称変化 2

[No.8~12] 第 3 課・第 4 課・第 5 課：冠詞の変化、複数形

[No.13~15] 第 6 課：動詞の人称変化 3、命令形

準備学習（予習・復習）：予習：教科書の説明に目を通し、新しい単語を調べる(30 分)/復習：新しく学んだ文法と単語を自分なりに整理しておく(30 分以上)。

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け説明をする。【成績評価方法】期末試験(80%)と小テスト(20%)で総合評価する。

教科書：『ゲナウ！レーゼン』新倉真矢子 他 著(第三書房)

参考書：独和辞典(電子辞書可)授業で使用します。

C 組 2 班 橘 由布季(非常勤講師)

教科書の前半を扱い(後半は後期「ドイツ語基礎」で学習)、単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、ドイツ語の基本的な構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。新しい言葉の習得には、繰り返し発音・音読することが肝要です。テキスト付属の音声聞いて、発音練習や復習に役立ててください。

[No.1~2] ガイダンス、アルファベットと発音、挨拶

[No.3~5] 人称代名詞、動詞の現在人称変化、語順

[No.6~7] 名詞の性・格、冠詞の格変化

[No.8~9] 名詞の複数形、人称代名詞の 3・4 格

[No.10~12] 不規則動詞の現在人称変化、命令形

[No.13~14] 不定冠詞類、定冠詞類

[No.15] 前置詞(2 格支配、3 格支配)

準備学習（予習・復習）：予習：教科書の説明に目を通す。また、練習問題に出てくる新出単語とその発音を辞書で必ず調べ、音読できるようにする(30 分以上)/復習：新しく学んだ文法と単語を自分なりに整理しておく(30 分以上)

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や課題、小テストに関する質問等を個別に受け付け、説明をする。【成績評価方法】期末試験(80%)、小テスト(20%)で総合評価する。

教科書：『つながるドイツ語みっとりーべ』中村修 他 著(朝日出版社)

参考書：独和辞典(電子辞書可)

S 組 1 班 三枝 桂子(非常勤講師)

教科書の前半を扱い(後半は後期「ドイツ語基礎」で学習)、単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、基本的なドイツ語の構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。

[No.1~2] ガイダンス(予習復習・授業の進め方など)/第 0 課：ドイツ語の発音

[No.3~4] 第 1 課：動詞の人称変化、sein と haben の変化、動詞の位置

[No.5~6] 第 2 課：名詞の性、名詞の格変化(1 格と 4 格)

[No.7~8] 第 3 課：不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形、名詞の 3 格

[No.9~10] 第 4 課：前置詞と名詞の格、副文

[No.11~12] 第 5 課：人称代名詞の 3・4 格、再帰代名詞と再帰動詞、名詞の 2 格

[No.13~14] 第 6 課：定冠詞類、不定冠詞類、否定冠詞 kein

[No.13~14] 第 7 課：zu 不定詞句、分離動詞

[No.15] これまでの復習

準備学習（予習・復習）：予習：分からない単語を辞書などで調べる(30 分)/復習：新しく学んだ単語や表現、文法を整理し、音声を聞きながら発音の練習を行う(30 分以上)

授業形態：双方向型授業、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、説明する。

【成績評価方法】期末試験(80%)と課題、小テスト、発言(20%)で総合評価する

教科書：『ドイツ語の時間〈恋するベルリン〉Web 改訂版 エピローグ付き』清野智昭著(朝日出版社)

ISBN 978-4-255-25393-0

参考書：独和辞典(電子辞書、アプリケーション可)